



3年生の文才に感じる  
「令和」  
感心するやら笑うやら



## 自らの手で創造する！～88日間の2学期スタート♪

記録に残る「THE 酷暑」の夏休みでした。長期休業とはいえ、「部活動」や「生徒会活動」、「駅伝」「わたしの主張」「英語暗唱・弁論」「独唱」の練習…と頑張る東中生。プールで水を楽しむ生徒達もいて、楽しそうな声が印象に残る夏休みでもありました。3年生の中には入試に向け学習に取り組む姿も…。夏休み中に各高校で行われた体験入学により目標が明確になってきたことが伝わってきました。自分に合った学習方法を見つけてから結果に結びつき始めるまで3か月はかかるといわれます。そして、その力が定着するまでにさらに時間を要します。2学期のうちに芽が出ることを、今から楽しみにしています。

さて、いよいよ2学期のスタートです。この88日間、「昨日より少しだけ進化した自分」を目指して様々な挑戦をし、経験を通して自らを創ることを望みます。自分で選択・決定すること、挑戦を通して自分の力を知り伸ばすことが、ゆるぎない自信と誇りを育てるからです。また、自分同様周りの人を大切にすることも学んでほしいです。人は一人では生きていけません。思いやりをもって周りの人たちと共に日々の生活をつむぐことは、誰もが安心して生きることのできる幸せな社会を創ることにつながります。

「頑張った人は、頑張った分だけ良い思いをする」学校は、頑張る東中生を全力で支え応援してまいります。2学期も引き続き本校の教育活動に対し、ご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



### 【生徒会代表「二学期の決意」】

3A 菅原 雄斗

僕は、生徒会として、2学期の中で大きな行事の文化祭を最高の行事にしたいです。文化祭は、各クラスや全校が積み重ねてきたそれまでの合唱練習の集大成を発表する場です。合唱リーダーや各パートリーダーにただ任せるだけでなく、お互いに意見交換し切磋琢磨し合いながら、更なる上達を目指しましょう。そして、合唱練習を面倒がらず、楽しみながら真剣に取り組みしましょう。そのために僕は生徒会合唱担当として合唱練習をまとめ、更なる上達を目指して頑張ります。

そして、2学期には、生徒会も代替わりとなります。最上級生として、1, 2年生に生徒会の仕事を引き継いでいきたいです。

### 第1回「教育についてのアンケート」 ご協力ありがとうございました

1日24時間のうち約3分の2を家庭で、残り3分の1を学校で過ごす子ども達。学校と家庭とは健全育成の両輪です。このアンケートは、「学校教育」と「家庭教育」を共に振り返るものでした。

生徒対象の「生活習慣アンケート」結果を反映

させた分析を9月初旬に改めてお知らせします。いただいたご意見は今後の学校運営に生かしてまいります。



GOOD TRY!

一関東中には様々な挑戦をしている人がいます。日々の学習を始め、生徒会の諸活動や学級活動、各学校から代表者が参加する大会やコンクール、各種研修や英語・漢字・数学などの検定、部活動といったものから、絵画やポスター、作文・感想文や標語、ご家庭や個人で取り組んでいる各種習い事やお稽古事までその幅は多岐にわたります。地元紙等で東中生の活動活躍を目にした方もいるでしょう。この夏の学校での挑戦の一部を紹介します

## 一関市中学生最先端科学体験研修(茨城県つくば市)

夏休み中の7月28日~30日、茨城県つくば市にて、中学生最先端科学体験研修が行われました。これは、一関・平泉の中学3年生を対象に毎年行われている研修で、中学生が最先端の科学技術に触れることで興味や関心を深め、将来を担う人材の育成につなげることを目的としています。

本校からは、小野寺陽斗さん、橋本さくらさん、岩淵巧雅さんの3名が参加、市内各中学校から集まった科学や技術に興味を持つ生徒たちとともに、事前研修・事後研修を含め研修を深めました。「高エネルギー加速器研究機構 (KEK)」や「宇宙航空研究開発機構 (JAXA)」等を実際に訪問し研究に触れ、得た刺激は大きく、3人とも瞳を輝かせて「楽しく学びになった」と話していました。

8月28日には東山にて研修発表会がありました。本校でも還元共有できる機会を持ちたいと考えています。



## 「わたしの主張」優良賞:小野寺陽斗さん

8月27日、一関市文化センターにて、「わたしの主張」一関西地区大会が行われました。本校からは3年小野寺陽斗さんが、「小さなマンガの大きなチカラ」と題して自身が大切にしているものと将来とを絡め発表し、見事に優良賞を受賞しました。中学生らしい希望と明るい未来を感じさせてくれる主張は、10月の文化祭でも発表されます。どうぞご期待ください!



## ご家庭の取り組みに感謝! 「我が家の防災メモ」

いつ起こるかわからない災害。登校時であれば、学校では生徒を校内に留め置く判断をすることもできますが、学校外ではそうはいきませんし、家族の皆さんがいつもお子さんと一緒にいるとも限りません。

そんな中で、「当事者」として防災減災を考える取り組みとしてお願いしておりました「我が家の防災メモ」、夏休み明け、お陰様で続々集まっています。お知らせしていたように、有事に備え、ご提出いただいたものを学校でも複写し、再度ご家庭にお返しいたします。ご家庭で見える場所に掲示をお願いします。未提出のご家庭は、来週の月曜日(9月1日「防災の日」)に提出願います。この日は、全校で岩手県教育委員会発行の「防災手帳」の内容を確認します。1学年には当日配布予定です。

「天災は忘れた頃にやってくる」...お子さんが当事者として動けるような心構えと一緒に育ててまいりましょう。

